

トランスセルヴィス有限責任会社の技術確認書

1,000,000 km走行後のMAN D 2866 : 分解不要で圧縮圧力が上昇し 気筒間で均一化

トランスセルヴィス有限責任会社、ハルキウ・事業所の機械設備保全責任者およびエンジン整備士による測定、社長の署名と社印のある技術確認書

ウクライナ・ハルキウ・測定日：2012年2月22日、2013年3月12日・観察期間1年

製品

リバイタリザント（摩擦面
再生剤）XADO 1Stage
Maximum for Diesel Truck
1回処理・潤滑系統40 lに950 ml

試験対象

ディーゼルエンジンMAN D
2866
車両MAN TGA、登録番号AX
4493 AT・総排気量11.967 l

文書の種類

使用者である事業所の
技術確認書（署名・押印あ
り）

機械類

MAN TGA、ディーゼルエンジン
MAN D 2866、登録番号AX 4493
AT

試験開始時の走行距離

1,069,013 km

測定項目

全6気筒の気筒別圧縮圧力、atm

再測定は2013年3月12日、走行距離1,076,252 kmの時点で実施した。この間、車両は通常の運用を続けていた。

主要な結果

↑ **2.5 atm**

気筒別圧縮圧力、28～29 → 31 atm

気筒間の圧縮圧力の均一化

ディーゼルエンジンMAN D 2866の気筒別圧縮圧力

気筒	処理前 (atm)	処理後 (atm)	変化量 (atm)
第1気筒	28	31	+3
第2気筒	28	31	+3
第3気筒	29	31	+2
第4気筒	29	31	+2
第5気筒	29	31	+2
第6気筒	28	31	+3

全6気筒が同一の値**31 atm**に揃った。圧縮圧力はメーカー規定値を上限とするため、全気筒で揃ったこの水準が到達しうる上限の結果である。

技術確認書の結論

社長、機械設備保全責任者およびエンジン整備士から成るトランスセルヴィス有限責任会社の試験委員会は、技術確認書に次のとおり記載している。「原子レベル金属表面改質剤『XADO 1Stage Maximum for Diesel Truck』の使用により、圧縮圧力の均一化（ばらつきの解消）と平均**2.5**単位の上昇が得られ、それに応じてエンジン出力が**4～5%**向上した」。試験開始時点でエンジンの走行距離は1,000,000 kmを超えており、処理は分解せずに、容量**40 l**の潤滑系統へ処理剤を注入して実施した。1年間の運用後、圧縮圧力は全6気筒で上昇し、**31 atm**で揃った。ピストン・シリンダ部の気密性が回復し、それとともにエンジン出力とディーゼルエンジンの安定した運転も回復した。



© XADO。すべての権利を留保する。
本結果は、走行距離1,000,000 km超のMAN TGAに搭載されたディーゼルエンジンMAN D 2866に関するものである。エンジンの状態および運用条件が異なる場合、測定値は異なる可能性がある。署名・押印のある技術確認書の原本は全文を公開しており、ダウンロードできる。